
■□■

□■□ 事故防止メルマガ「Think」／Vol. 245

■□■ 【発行】シンク出版株式会社 <http://www.think-sp.com/>

// INDEX //

- 1・2021年11月後半の安全管理ごよみ
- 2・危機管理意識を高めよう～事業所でのアルコール検知を徹底しよう
- 3・交通事故の裁判事例～街路樹との接触事故で道路管理者の責任を認定
- 4・今日の朝礼話題～バス専用レーンに入るときは十分な安全確認を
- 5・【好評発売中】手帳「2022トラック運行管理者手帳」
- 6・【好評発売中】手帳「2022バス運行管理者手帳」
- 7・【好評発売中】単行本「『心のまなび』から考える交通安全教育」

// //

★11月後半の安全管理ごよみ

◆1日（月）～30日（火）

- 過労死等防止啓発月間・過重労働解消キャンペーン（厚生労働省）
- エコドライブ推進月間（エコドライブ普及連絡会）
- フォークリフト等の特定自主検査強調月間（建設荷役車両安全技術協会）

◆16日（火）～1月10日（月）

- 第61回「正しい運転・明るい輸送運動」（全日本トラック協会）

◆21日（日）

- 世界道路交通被害者追悼の日

◆23日（火・祝）

- 勤労感謝の日

※詳しくはシンク出版のWEBサイト「今月の運転管理」で紹介しています。

【今月の運転管理↓】

<https://www.think-sp.com/2021/10/11/nov-2021-kongetsu-untankenri/>

■危機管理意識を高めよう

『事業所でのアルコール検知を徹底しよう』

2021年6月に千葉県八街市で白ナンバートラックによる飲酒運転事故が発生し、小学生5人が死傷する惨事となりました。

この事故を踏まえ、政府は安全運転管理者を選任する事業所に対しても、出発前と帰社時のアルコールチェックを義務づける方針をとりました。

道路交通法施行規則が改正され、2022年4月1日に施行される予定です。

また、アルコールチェックの記録も事業所において1年間保管することが求められる見通しです。…

【続きを読む↓】

<https://www.think-sp.com/2021/11/01/kikikanri-alcohol-detection/>

■交通事故の裁判事例

今回は、走行中のトラックが街路樹に当たって車体上部が損傷した事故で、道路管理者の責任が争われた事例を紹介します。

『道路脇の街路樹が道路構造令に反しているとして道路管理者の責任を認定』

【事故の状況】

平成26年3月14日午後1時2分ごろ、Aは大型トラックを運転して兵庫県神戸市の片側2車線道路の第1車線を走行していました。第2車線には交差点の信号待ちで大型トラックなどが停止していたため、Aはそれらと間隔をとるために車体を左側に寄せたところ一部が路肩にはみ出す形となり、路肩部分にはみ出していた街路樹の枝に風よけ部分、架台ウイング箱上部を接触させま

した。

Aらは、道路管理者である神戸市に対して、街路樹の枝は地上3.8m～4.5mの範囲に構造物等を設置してはならないとする道路構造令に定められた建築限界を超えており、その管理に瑕疵（かし）があったとして、修理費など約628万円の損害賠償を神戸市に求めました。

これに対して神戸市は、街路樹の枝が道路上にせり出してはいるが、前方の視認状況等を考えれば、接触の危険を予見することは可能であり、Aらに街路樹の撤去費用や新たな植栽工事費用など約30万円の損害を受けたとして損害賠償を求めました。

【裁判所の判断】

「(神戸市の責任) 街路樹は道路構造令の建築限界を超えて道路の路肩にはみ出しており、道路構造令の趣旨が構造物等により車両や歩行者の交通の安全性・円滑性に支障をきたすことを防ぐためであることや、A車が路肩にはみ出して走行していたことに法令違反はないことに照らせば、道路には本来要求される安全性を欠く瑕疵があった」

「(Aの責任) Aは2～3か月に1回トラックを運転して同じ道路を走行しており、全高のあるトラックと街路樹との接触を予見することは可能であったが、Aは街路樹との接触はないものと過信して予見を怠り、車両を一部路肩にはみ出させた状態で進行させた過失により事故を起こした」

と双方の責任を認め、過失割合を次のように認定しました。

「事故現場周辺に街路樹に対して注意喚起する標識等がなかったことや、第2車線に停車していた大型車両との接触事故を防ぐために路肩まではみ出して走行したのも無理からぬ面があることなどを踏まえ、さらに神戸市の道路管理上の瑕疵の内容も勘案すると、Aの過失割合は3割とするのが相当である」

(神戸地裁 平成31年3月14日判決)

■今日の朝礼話題

『バス専用レーンに入るときは十分な安全確認を』

さる10月28日午後2時半ごろ、東京・町田市で路線バスと軽自動車が発生する事故があり、乗客7人がけがをしました。

現場は路線バスの専用レーン上で、専用レーンに入ろうとした軽自動車をバスが避けきれずに衝突しました。…

【続きを読む↓】

<https://www.think-sp.com/2021/11/01/tw-bus-lane/>

シンク出版WEBサイトでは、朝礼時や会報作成時に参考にしていただける「今日の朝礼話題」を毎日（弊社営業日）更新しています。（情報のご利用につきましては、以下「当サイトのご利用について」をご確認ください↓）

<http://www.think-sp.com/about/>

■【好評発売中】手帳「2022トラック運行管理者手帳」（カバー・濃紺）
手帳「2022バス運行管理者手帳」（同・ワインレッド）

※仕様 A6判／222ページ／表紙ビニールレザー／本色2色刷

※価格 各1,320円（税込・送料実費）

今年も「2022トラック運行管理者手帳」「2022バス運行管理者手帳」の販売を開始しております。

両手帳とも、運行管理者として知っておきたい最新の法改正などを「法令編」「知識編」「データ編」としてまとめており、煩雑になりがちな運行管理関係の法令知識をお手元で確認していただくのにとっても便利です。

スケジュール欄も充実しており、また、2022年版から月間カレンダーにおける祝日や交通に関するこよみの文字を大きくしましたので、より読みやすく、日々の運行管理に役立つ手帳となっております。

【詳しくはこちら↓】

<https://2014unkoukanridiary.jimdo.com/>

■【好評発売中】単行本『心のまなび』から考える交通安全教育

※仕様 A5判／240ページ／表紙カラー刷、本文一色刷

※価格 2,200円（税込・送料実費）

※著者 金光義弘（川崎医療福祉大学名誉教授・NPO法人安全と安心 心のまなびば理事長）

本書は、心理学者である著者が、長年の研究と実践で培った知識と経験をもとに、現在の交通問題についての様々な提言をまとめた一冊です。

「健康なくして安全なし」と言われるように、ストレスや健康管理ミスが交通事故の原因になることも少なくありません。本書では、このような問題に対して健康心理学の視点から取り上げており、どうして健康を害すのか、ストレスが溜まるのかを理解することができます。

提言はリスクマネジメントの基本からこれからの交通社会を担う子どもの安全教育まで、幅広いジャンルに渡ります。また、事業所で実施できる事故防止対策のアイデアも紹介していますので、職場での交通安全教育にも最適の一冊です。

【詳しくはこちら↓】

<https://bit.ly/3CPIvKr>

【事故防止メルマガ「Think」のバックナンバーはこちら↓】

<https://goo.gl/duF5ws>

本メールマガジンは、名刺交換をさせていただいた方々にも送信させていただいております。今後、メールマガジンの購読を希望されない場合は、お手数で

すが下記アドレスまでご連絡をいただきますようお願いいたします。

(令和3年11月1日送信)

※本メールは「MSゴシック」などの等幅フォントで最適に表示されます。



～人と車の安全な移動をデザインする～

シンク出版株式会社

大阪市北区天神橋1-7-15 ビアリッツ天神橋501

TEL 06-6809-1989

FAX 06-6809-1984

Eメール mail@think-sp.com

URL <http://www.think-sp.com/>

